

KATARIBA

NPOカタリバへのご支援の御礼

この度はNPOカタリバの活動に共感ください、ご支援を賜りまして誠にありがとうございます。あたたかいお気持ちで、スタッフ一同、心より感謝申し上げます。お申込みいただいた皆様のご寄付は、新型コロナウイルスの感染拡大、貧困や被災などによって、居場所や学びの機会が失われるといった困難な環境にいる子ども達のために大切に使わせていただきます。子どもたちからのお礼のお手紙を同封いたしました。ぜひご高覧いただければ大変嬉しく思います。

お一人お一人の想いを、学びの機会や温かい食事、安心して過ごせる環境に変えられるよう、目の前の課題と真摯に向き合いながら取り組んでまいります

どんな環境に生まれ育っても、「未来はつくれる」と子どもたちが信じられる社会のために、と一緒に歩んでいただければ幸いです。引き続き、ご支援・お見守りのほど、どうぞよろしくお願ひいたします。

認定特定非営利活動法人カタリバ
代表理事 今村久美

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南3-66-3 高円寺コモンズ203
TEL: 0120-130-227(フリーダイヤル)
Email: kaiin@katariba.net

KATARIBA

子どもたちからの感謝の手紙

「カタリバとの出会いは、私の人生を大きく変えました」

震災から9ヶ月たった2011年12月、大槌にコラボスクール大槌臨学舎ができました。私はその次の年の春から、臨学舎に通うようになりました。臨学舎は、心の居場所でした。町は、津波によってほとんどすべてのものを奪われました。震災から1年近くたつても、その現実が信じられず受け止めきれていながら、たのだと、今になって思います。そんな中、臨学舎だけは、そんな現実を忘れさせてくれる場所でした。行くと元気がわいてきました。

臨学舎と出会ったことで、視野が、びっくりするくらいに広くなりました。臨学舎は、私の知らない世界を見せてくれたり、出会ったことのない人と会ったり会わせてくれました。そんな経験をして、私の考え方にはるかに上にあるような高校を目指し、結果、県で一番の成績を誇る進学校に入学することができました。

臨学舎と出会ったことで、学力が向上したのはもちろんのこと、たくさん的人に出会い、たくさんの気持ちを知ることができました。もっとたくさんの人にもカタリバの良さに気づいてもらって共感してほしいと思います。

作文を書いてくれたのは「コラボ・スクール」の卒業生です。

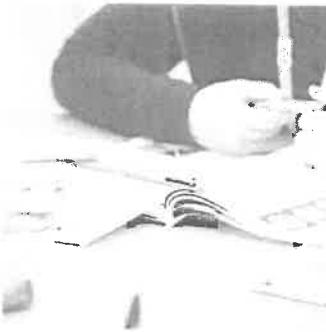
「コラボ・スクール」とは東日本大震災をきっかけに設立した被災地の放課後学校です。岩手県大槌町の「大槌臨学舎」、宮城県女川町の「女川向学館」、福島県広野町の「双葉みらいラボ」の3箇所で運営を行っています。被災によって環境が大きく変化した子どもたちへ、学習支援と心のケアを提供しています。

震災が起こる前は、ずっと地元にいるものだと思っていた彼女。臨学舎に出会い、視野が広くなり、自分の人生が豊かになったと話します。



KATARIBA

子どもたちからの感謝の手紙



作文を書いてくれたのは
「アダチベース」に通う
中学生の女の子です。

「アダチベース」とは東京都足立区から委託を受け、困難な環境で育つ子どもたちを対象に、安全な居場所と、学習の機会、温かい食事を提供している放課後学校です。週に6日 平日の夕方と休日の日中の時間帯に迎えいれ、子どもたちにとっての「もう一つの家」を目指します。学校と連携しながら、一人ひとりに合った教科指導・キャリア発達の支援を行い、彼らの自立する力を育んでいます。

※生徒の顔写真の掲載は控えさせていただいております。ご了承ください。

「皆さんのおかげで、私達の興味は広がり、
未来も広がり続けています」

